

81.11.27

No.906

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
 (鉄電)二九三五六(公衆)電話(22)七二〇七

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎ノ

内房線運転保安闘争を教訓とし、 組織強化・発展を確認

1/24 館山支部大会開かる

館山支部通信員 発
 即ち勤労千葉の皆さん、館山支部は本部より水野副委員長、布施交渉部長、吉岡組織部長、ならびに館山労金支店長を来賓に迎え、11月24日、13時30分より富川清さんを議長に選出し、才五回支部定期大会を開催し、成功をかちとりました。

内房運転保安闘争を柱に前進を総括
 昨年度、才四回支部定期大会よりこの間、当支部は内房線運転保安闘争を柱に即ち姿勢を強固にし、岩根一木更津間の組合徐行を貫徹し、七月には当局に防護柵を設備させ、56.10ダイ改で優等列車(特急)の運転時分の見直し、仕業増を要求し勝ちとってきました。

教化する攻撃に抗し、より「強い組合」へ
 国鉄35体制合理化攻撃の中にあつて「要求完全勝利」とは非常に難しいことではあります。まず「弱い組合」であつてはならないという事です。常に組合員個々がはつきりと「強い組合」へと意識づけ、右傾化する総評運動の中、勤労中央「本部」と決別し独立した事の意義を考へて前進していく必要があつたと思ひます。即ちこのことを忘れつつある組合が多くなつて居る今日、国家・警察権力ならびに国鉄当局はわが勤労千葉の組合つがしに鋭先きを向けこくる事は火を見るよりも明らかであります。

過去、組合をつぶす場合、弱い組合から彼らは手かけてきた事は皆さんご存知の通りでしょう。現在の彼らのやり方は、強い組合をつぶせば……あとは夏の夜空を色どる火花の如し……を狙つて居るのであります。

「全員が活動家へ」を合言葉に前進を確認
 われわれは組合員こそ一三〇〇名ではあるが、全国一、二を自負するわが勤労千葉を支援してくれる多くの皆さんを裏切る事なく、更に強固に連帯意識を強めていく必要があるのではないのでしょうか。その意味で、質疑応答の中で特に内心

が高かつた一人一口運動の取り組みについて、一三〇〇名の組合員が、支援する人数を含めて二〇〇〇名にも三〇〇〇名にも膨れ上つていくことが、我々勤労千葉の組合員の心強い絆になるのではないのでしょうか。

支部大会は、「組合員全員が活動家になろう」とを合言葉に、今後も押し寄せてくるだろう中央「本部」革マル反動分子の悪らつ非道なやり口、又、才ニマル生攻撃等の粉碎に向けて、各支部の組合員の皆さんと連帯し敢然と即ち姿勢にむけて、組合員総体の意識向上を一層かちとっていくことを確認しました。

満場一致、原案可決。吉田支部長の音頭で「団結ガンバロー」

大会は最後に、スローガン案、運動方針案、予算案を原案通り満場の拍手で可決し、17時45分、吉田支部長の団結ガンバローで成功裡に幕を閉じました。

サークル技 マーシャン大会 (11/24)

成田支部(B4-M)が優勝(団体戦)
 個人優勝は 酒井富士太君(津田沼支部)

個人戦
 優勝・酒井富士太(津田沼) 準優勝大畑(成田) 三位・八木泰典(新小岩) 四位・西本泰通(銚子) 五位・高野隆成(成田) B.B賞・松垣充(成田) (敬称略)

団体戦
 優勝——成田支部(百十名) [成毛・石橋宮・大畑・高野] 準々——新小岩支部 [八木・中村・安西・大畑] 三位——銚子支部 [西本・宮崎・菅谷・早稲]

勤労千葉サークル技・マーシャン大会は、11月24日各支部より多数の愛好家が集まり、千葉市内で開催された。6時間に及ぶ熱戦の結果、成田支部(百十名)が団体優勝、個人では津田沼支部酒井君が優勝をはたしました。